

G-ECS PILE。さまざまな条件下で、最良のソリューションとして採用されています。

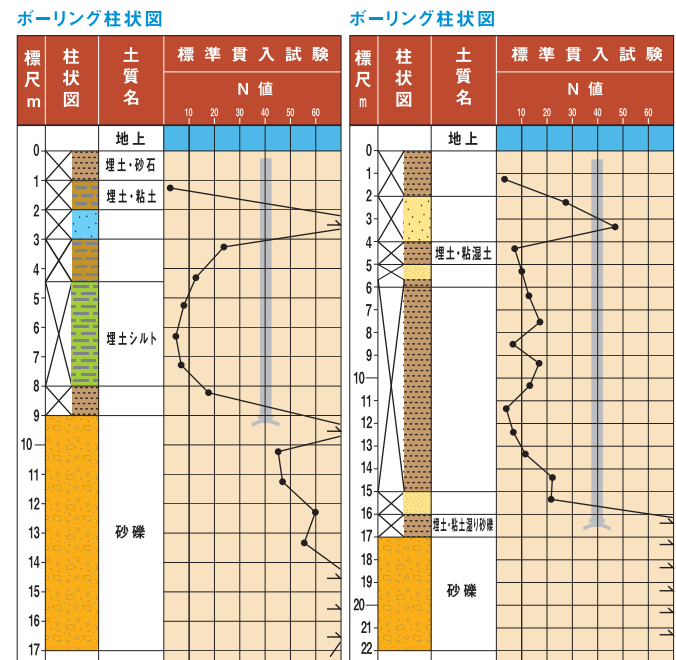
G-ECS-パイル工法

相模原市某特別養護老人ホーム

臨機応変な施工対応で高い評価を獲得。

本物件は、河川沿いで逸水が激しく、セメントミルクが使えないため、ジー・エクス・パイル工法を採用していただきました。施工時は支持層に不陸があったので、ゾーニングにより杭長を区分けして対応。また、高止まり、低止まりに対しても現場にて素早く対応しました。臨機応変な対応と、施工機2台での施工を実施したことで、施工日数を16日間に短縮。施主様から高い評価をいただきました。

【施工年月:平成25年7月】



構造物概要

名称	相模原市某特別養護老人ホーム	建築面積	約1,585㎡
施工場所	神奈川県相模原市	施工年月	2013/5/15～7/6(延べ日数32日間)
用途	老人ホーム	杭の種類	φ267.4×12.7(STK490)
構造	S造4階	杭長	6m, 7m, 10m, 16m
設計支持力	680kN	本数	256本
先端N値	39, 42, 46, 48	杭先端深度	GL-6.25m

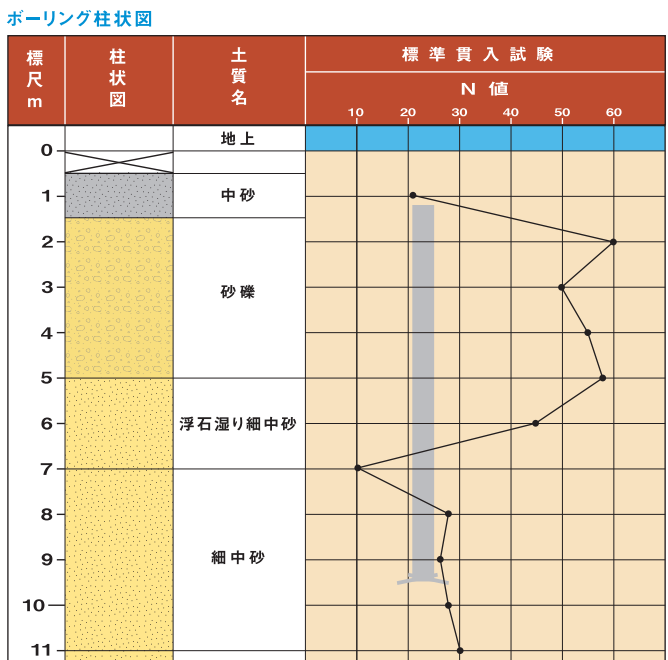
G-ECS-パイル工法

名古屋市内某ビル

狭く、騒音・振動への配慮が必要な案件で威力を発揮。

本物件は、敷地が狭く、また敷地を最大限有効に使う計画のため、狭小地でも施工可能、なおかつ引抜力に対応できるジー・エクス・パイル工法を採用していただきました。周辺が住宅街なので騒音や振動への配慮も欠かせません。この点でも無騒音・無振動が評価されました。本来、直接基礎で押込力は確保することができますが、引抜対応のためGL-9m付近の砂層を支持層としました。

【施工年月:平成26年5月】



構造物概要

名称	名古屋市内某ビル新築工事	建築面積	約110㎡
施工場所	愛知県名古屋市中区	施工年月	2014/5/15～5/20(5日間)
用途	ビル	杭の種類	φ190.7×7.0(STK400)、φ216.3×8.2(STK400)
構造	S造4階	杭長	8m
設計支持力	220kN、280kN	本数	24本
先端N値	23	杭先端深度	GL-9.40m

株式会社 三誠
SANSEI Inc.

本社
TEL:03-3639-5226 FAX:03-3639-8162
ホームページ <http://www.sansei-inc.co.jp>
メールアドレス info@sansei-inc.co.jp
〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町4-3国際箱崎ビル3階

編集・発行人/高橋 進 発行所/株式会社三誠ジー・エクス・パイル工法事務局
北海道営業所/東北営業所/新潟営業所/北陸出張所/北関東営業所/茨城営業所/関西営業所/中部営業所/九州営業所/沖縄営業所
北海道地区総代理店
株式会社 北雄産業 TEL:011-824-0111 FAX:011-824-0115 ホームページ <http://www.hokuyuu.com/>

お問い合わせは、メール info@sansei-inc.co.jp
または、FAX 03-3639-8162(担当 営業部 小林)まで。

ジー・エクス・パイルの三誠がお届けするインフォメーション・ペーパー。

G-ECS NEWS

編集・発行人/高橋 進 発行所/株式会社三誠ジー・エクス・パイル工法事務局 本社 〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町4-3 国際箱崎ビル3F
TEL:03-3639-5226 FAX:03-3639-8162 ホームページ <http://www.sansei-inc.co.jp>

2015 Jan. Vol.21

新年号
三誠ネクスト
ステージ

20周年を超えて次なるステージへ。
Advance The Next
100億円企業へ向けて体制を強化します。

30周年へ向けて、
三誠のチャレンジは続く。

新年明けましておめでとう
ございます。旧年中は格別のご
高配を賜り、厚く御礼申し上げ
ます。

本年も社員一同、皆さまにご満
足いただきますよう、一層の新商
品開発・品質管理とサービスの
向上に向けて精進する所存でござ
います。何とぞ昨年同様のご
愛顧を賜りますよう、お願い申
上げます。

さて、昨年を振り返ってみます
と、4月の消費税増税前までは
駆け込み需要がありプラス要因
となりましたが、増税後はその
反動で動きが弱まり総じては緩
やかな回復基調が続きました。

建設業界では、消費税の引き
上げと生コン・鋼材の値上げな
どが影響し、下期は苦戦となり
厳しい一年だったと思います。

そんななか三誠は、メガソー
ラーをはじめ、中高層の建築分
野、土木分野に向けて昨年投入
した中径杭(φ318・5φ
406・4φ)が予想以上に売り上
げを伸ばし、ほぼ目標を達成す
ることができました。

従来の強みを生かしながら、
新製品開発にも着手。

2015年はさらなる金融緩
和が見込まれ、原油安等の好材
料を活かし、昨年の消費税増税
に伴う景気低迷とは対照的に回
復基調になると想定されます。

三誠はこのようなチャンス
を確実に活かすべく、土木分野を
中心に営業体制の見直し、技術
陣の体制強化などを行うつもり
であります。

また、中径杭粘土の認定も
予定しており、全国の粘土質支
持層地区へのアプローチも積極
的に行う予定です。

新しい工法では、ECS-ITP
工法に手ごたえを感じており、
建築分野はもちろんだこと特に
土木分野を含め今年度は新たな
受注が見込まれるものと大いに
期待しております。

2015年は、ジー・エクス・
パイルが市場に出て12年目にな
ります。

そろそろ新製品の開発に取り
組み、何とか数年内に新シリ
ーズを発売し、100億円体制の
締めくくりにしたいと思ってい
ります。



代表取締役社長
三輪 富成(とみなり)



本年度も引き続き各営業所毎
に地域NO.1を目指していま
います。

30周年に向けてチャレンジす
る三誠を、本年もよろしくお願
いいたします。

MONTHLY Topics

今月のトピックス

全国販売店会へスボール
コンテスト表彰式開催

1月23日に第9回全国販売店会
スボールコンテスト表彰式を開
催いたします。

全国各地の販売店様から21社を
表彰いたします。

ECS・AW特許取得

現場の溶接品質を安定化するた
め標準化してきましたECS・AW
工法の特許を取得しました。三誠の
品質へのこだわりが形となった結果
です。

将来の人手不足のみならず、お
客様の信頼に応えるべく、これか
ら新工法の
開発に努力
してまいり
ます。



特許番号:第5616159号

道路標識柱基礎を受注

道路標識柱と基礎部分を
ECS・ITP工法で直接接続する
もので、国交省帯広開発建設部広
尾道路事務所(北海道)で受注
完了しました。

基礎フーチング部の生コン使用を
廃止した新工法で、今後のさらなる
拡販が期待できます。



製造、施工を全国各地で徹底管理。
地産地消による多くのメリットを
ご提供いたします。

私たち三誠は、高品質とは単に製品が持つ特性だけでなく、サービスを含めてトータルにお客様にご満足いただけることと考え、ご満足をお届するために製造現場である工場で数多くのこだわりを持って作っています。

●全国12カ所に工場、営業所を展開。

拠点となる営業所の近くに製造工場を配置。営業所と工場のきめ細かな連携により、高精度のご提案やスムーズなサービスの提供と、製品を早く・安く・安定的にお届けできる体制を整えています。▼



●国内産にこだわった原材料。

国産品にこだわるのと仕入れのコスト面では、厳しいものがあります。しかし三誠は、品質第一主義の考え方のもと、創業以来あえて国産品にこだわり、その姿勢は現在も続いています。

●管理シールによるトレーサビリティの実施。

ジー・エクス・パイル一本一本に貼られた小さなシールにより、いつ、どこで、誰により生産されたのかがトレースできます。万が一製品に問題が発生しても、迅速な原因の究明と改善が可能です。

●独自の製造体制と管理方法。

独自のノウハウとルールを設けて、品質の向上と安定を図るとともに、クレームに対する即時の対応と改善を日々実施しております。またお客様には適宜に工場見学を実施し、ご納得いただいております。

国土交通省大臣認定

G-ECS パイル

EF-045035

株式会社 三誠

製造管理No.

生産工場名



●豊富なラインナップ。

Φ14・3Φ40・6Φ46まで揃えた9種類もの豊富な杭径。工法も従来の鋼管杭工法に加えて、鉄筋構造物からコンクリート基礎、地中梁をなくす画期的な基礎杭工法「ECS-TP」など、杭も工法も多様なニーズに対応するラインナップです。▼

お問い合わせはこちら
03-3639-522

(株)三誠 本社 品質管理室

ますます可能性が広がる
ECS・TP工法の最新事例をご紹介します。

そして、2012年9月には初めて鉄骨造低層建築物に施工を行い、現在では、看板基礎40件以上、低層建築物10件以上と確実に施工実績を積み上げ、防音壁や防雪柵という掘の支柱基礎にも利用の幅を拡げています。

茨城県で施工した防音壁では、コンクリート基礎に比べ工期の大幅な短縮および工事費

ECSTP工法は、常に新たな可能性を追求し、これからの利用の幅を拡げてゆきます。



完成後写真

「三誠セミナー」レポート

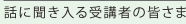
昨年10月、三誠セミナーを開催いたしました。第5回の今回は、講師として齋藤公男氏をお招きし、『新しい建築のみかた』それから『空間 構造 物語』と題して、建築の過去と現在と未来とそれらの建築に対しての視点を、数多くの事例を交えてお話いただきました。当日は齋藤先生のネームバリューのせいか、地方からのお客様も含め過去最多の90名を越える方々に来場いただき、熱気あふれる会場で有意義な時間を共有することができました。

新しい建築のみかたーそれから

講師

日本大学名誉教授
元日本建築学会会長
斎藤公男氏

A I Forum 代表



西日本支店 関西営業所
所長 広田 学

関西特有のノリで

4年間で3名が

その理由を聞きました。

関西営業所を開設して5年目、当初3名でスタートしましたが、いつの間にか社員は15名になっていました。

理由はいろいろと考えられますが、ひとつは担当エリアが関東地方のみならず、中国地方・四国地方と広範囲に及ぶため、物件数が多いこと。もうひとつは、社員の頑張りはもちろんですが、販売店さんや施工店さんと強力な連携が取れたことが大きかったと思っています。

担当エリアが広いこともあり、まだまだ市場はあるので、さらに上を目指して日々奮闘しています。

関西ならではの施工案件などのお話をいただくこともあります。例えば兵庫県のあるところの近くの案件ですが、この地域では地下水を使ってお酒を造っており、地下水を汚すことができませんでした。その結果、搬出残土や地下水の汚染がないジー・エクス・パイルを採用いただきました。

担当エリアが広いことはマーケットとしてはポテンシャルがあつていいのですが、反面大変なのが移動に時間と経費がかかることです。新幹線、飛行機を活用して、少しでも



移動時間を短縮して効率よく動けるよう日々全員で考えています。

また、今回の写真を見ていただくかわかりますが、社員がいろいろな地域へ出かけているため全員揃うことはめったにありません。情報交換がなかなかできませんが、そこは夜のノミニュケーションで補っています。

「ミニニケーション」といえば、他の営業所とも積極的に物件情報などを交換しています。設計事務所様へのフォローのお願いや大手顧客様を紹介してもらうなど、本社を含め全国に営業所を構えている強みを最大限に活かすべく、きめ細かな連携をとっています。

関西営業所は人数がいちばん多い営業所で、技術スタッフ、資材部も揃っていてメンバーは多士済々。ただし、仕事の会話はボケとツッコミの関西風。そのリズムカルなテンポで、エリアNO.1を目指してこれからも売上を伸ばしてゆきたいと思っています。